

# ゆめっと

第  
31  
号

発行／  
京都青少年ゆめネットワーク  
京都市南区上鳥羽石橋町34-1  
ウィングパル京都内

TEL/075-672-2811  
FAX/075-681-7722

2000 February

ゆめっとホームページ  
(アドレスが変わりました)  
<http://www.bell.ne.jp/yumet> E-mail:reivy@mbf.sphere.ne.jp

## グループ別意見交換会「よりよいネットワーク」

去る2月5日に行われました臨時総会の後、グループに分かれて意見交換会を行いました。

「ゆめっと京都とは何か」「ネットワークとは何か」ということを一緒に考えてみませんか。

- 各団体の持つ目的のそれぞれがう部分と共通している部分がある。共通部分は何か、メリットは何かということをはっきりとさせるべき。
- ゆめっとの一つとして青年塾があると思う。みんなに協力を求めたい。青年塾が接着剤になればと思う。
- 例えば、各団体がいろんなことをやる。ゆめっとが金、人、物の支援をする。独自の分野をのばしてそれをサポートする。
- 共通項が何かということが大事。
- ゆめっとは様々な目的、性格を持った団体のよりあつまりであるので、すべての共通項を探すのは無理。
- 「情報が欲しい」というのはわかるが、自ら情報を発信しないと取り入れられないのではないか。
- 青年塾企画運営部会から「～したい。」、会員から「～して欲しい」というものを相互に発信すべき。
- 「予算、人のある部分については手伝いするよ。協力するよ。何かあったら言って。」と情報発信し、「～できないか。」と具体的に言ってもらった方がよい。
- 活動の対象、主体となっている部分がわかれれば協力する。
- ゆめっとの知名度は低い。所属団体の中でゆめっとを理解している人はどれくらいいるのか。個人レベルまで伝わらない。それが魅力低下の原因。動員がかかっても何をするのか行くまでわからない。
- いろいろな団体がいる、それをまとめる難しさを感じる。
- 「一つの方向に向いていかなければならない。」というのはどうかと思う。
- やりながら考えていくしかない。縛りすぎても緩めすぎてもだめ。
- 中の団結を強めるための行事が必要。
- 組織の理論作りが必要。連絡先の確立（ブロック別のネットワーク）。Eメールだけでなく顔を合わせることが大事。
- 自分の団体、個人の活動が忙しいためなかなか難しい。
- 興味があるものは参加したいが、『青少年』というくくりでは出て行くのが難しいことがある。どんな組織があるか知りたいし、手伝えることは手伝おうと思う。
- 会員団体にいろいろお手伝いいただくことがある。自分もいろいろな団体の活動に参加しにいって、待っているだけでなく自分から交流し団体を活用していきたい。

- 待っているだけでなく自分から参加してネットワークを広げて欲しい。
- ゆめっとが企画をして、各団体より強制的に参加を呼びかける。協力を呼びかけて欲しい。
- 青少年を育てる、あるいは自分たちも楽しめる、自分たちの子どもも楽しめるようなことがよい。団体にどんなことが頼めるのか明確にわかるように。
- 10団体くらいを1単位にして行事をする。そういう企画を投げかける。
- 個人的に団体に参加したりできないかという話が出ている。
- ゆめっとは、やはり代表どうしの体制になっている。
- 多くの団体があるので価値観が違う。『ゆめっと』が方向性を打ち出し、同じ方向に向かうのは無理があると思う。
- いろいろな人材を活かす場があればよいのではないか。
- 会議の席に代表者が来るのは仕方がない（あたりまえ）。パイプ役として必要。
- 団体の中から他にも、幹事としてメンバーを送り出していればパイプが増えるが。
- ゆめっとに何かして欲しいというのではなく、実際どう利用するかだ。
- 自分の団体が組織としてうまくいっていない。活性化させたい。そのためにも KK サポートを利用している。利用した人が KK サポートがよいもの、使えるものであることを口コミで伝えていけば広がるだろう。
- メーリングリスト、インターネットの充実もそういう意味でダイレクトに一般会員が利用（参加）できるシステムづくり。
- 企画委員会でも団体持ち回りのような企画をしていこうという案がある。
- そのためにはどんな団体があるのか調査が必要。身内だけでなくやるべき。
- アンケートをとったり加盟団体訪問でも、何を得意とするか、提供できるか調べたり聞いたりしている。
- 各団体の目的が違う。若い人の育成とか、資金援助が欲しいとか、世間体・顔つなぎとか。顔つなぎの団体は賛助会員でよい。
- 何か望んでいる人には支援が必要。
- 何か望むというのは漠然としきり。ギブアンドテイクの場であることを各団体に伝えるべき。そして、きっちりメリットを知らせるべき。ゆめっとフェスタも一部の人だけが苦労する形となった。
- 情報を待っているだけではだめ。
- 関わっている者でないとゆめっとのイメージがわからない。こういう開かれた場があってイメージがわかれば、おもしろい場があれば関わっていきやすい。

ランダムに書いてみましたが、皆さんのご意見はいかがですか？4グループに分かれて意見交換をしましたが、思っていることは共通していることが多く、これからゆめっとの課題もあります。今後もこのような場が数多く持てることを望んでいます。貴重なご意見有難うございました。

31-1

団体名 wings21テニスクラブ  
 活動内容 テニスを通じて、会員の親睦と健康づくりを図っています。  
 車イステニスの競技振興に協力しています。

会員数 25人  
 主な活動場所 八幡市内のテニスコート  
 他の団体に提供できる「もの」「ひと」「情報」  
 障害者のスポーツ活動を支援していくこと

現在の活動の中で困っていることや悩みごと等  
 青年がメンバーとして入ってこない。  
 平均年齢が高くなってきたので、今後は青年活動とは言えなくなるのではないかと思います。

お問い合わせは 岸 伸行さんまで（電話と fax 075-983-0033）  
 メールアドレス [n\\_kisi@mvc.biglobe.ne.jp](mailto:n_kisi@mvc.biglobe.ne.jp)

31-2

団体名 京都府連合青年団(略称 府連青)  
 活動内容 主なものとして、京都府青年大会体育の部及び京都府青年大会文化の部、京都府青年問題研究集会、リーダー研修会の開催。  
 その他、全国の上記と同じような大会、研修会への参加。

主な活動場所 京都府内各地  
 現在の活動の中で困っていることや悩みごと等  
 団員の減少。団体内での役員のなりてが少ない。活動時間の確保。  
 京都府全域での活動のため移動時間がかかること。

お問い合わせは 山内 博文さんまで（電話と fax 0771-75-9019）

31

31-3

団体名 成基グローバルキッズ俱楽部  
 活動内容 子どもたちを対象に野外教育・体験学習を中心とした活動を行っています。  
 大学生の指導員（Gリーダー）が、それらの活動の企画・運営を実施します。

会員数 約100人  
 主な活動場所 京都市内、石川県能登島  
 他の団体に提供できる「もの」「ひと」「情報」  
 約100名の活発なGリーダー

現在の活動の中で困っていることや悩みごと等  
 京都でのフィールドが少ない。

お問い合わせは 成田 裕さんまで（電話 075-441-7267  
 fax 075-441-2701）

団体名  
活動内容

## 社団法人 京都青年会議所

明るい豊かな社会の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った25歳から40歳までの指導者たるとする青年の団体です。

主な活動場所

京都市

他の団体に提供できる「もの」「ひと」「情報」

(対外団体出向等、ご要望があれば理事会で審議の後、役員を出向させていただいてます。)

お問い合わせは

野矢 泰弘さんまで (電話 075-241-3241  
f a x 075-241-3244)

～加盟団体よりお知らせ～

### 時事英語をやってみよう

「天下り」って英語ではどう言うの? 答えは…parachuting (パラシュートで…?)

「ミイラ」は?

答え …・mummy

「ドーナツ」のつづりは?

答え …・doughnut

ホットな話題を楽しく話しましょう。気楽に来てください。

原則として毎週「月曜日」夕刻に決まりました。

開催日時 : 毎週月曜日 19:00~20:30

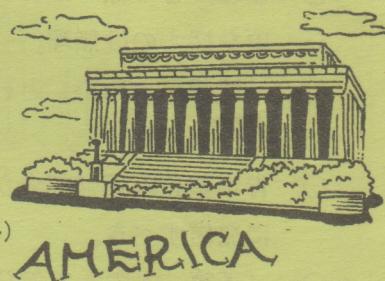
場所 : 京都市青少年活動センター (京都市下京区西洞院塩小路上ル)

TEL 075-343-6626

参加費 : 500円

担当 : 高嶋 紀子 (Women's Messages 編集長・大学教員・KPIYA 理事)

申し込み先 : 高嶋さんまで (TEL/FAX 075-956-1388)



英語が好きな人どうぞ。辞書を持ってきてね。

ゆめっと青年塾 平成11年度第4回セミナー

### インターネットでコミュニケーション ~うまくつきあっていけるといいね~

メールやっているけど、もっとうまく使いたい。パソコンがない人に情報を送りたい。

うちの団体でも、メーリングリストやろうかな。インターネットについて、もっと知りたい。

日時 3月12日(日) 午後1時から5時まで

会場 ウイングパレ京都 (京都府青年会館)

講師 増田 清 氏 (オムロン株式会社 技術本部ディレクタ)

京都とアメリカを12年間、毎月行き来する「世界の増田」

プログラム ・インターネットとうまくつきあうには

・コミュニケーションツールとして、どう使っていくか

・グループ発表、意見交換、講師からのコメント、アドバイス

参加費 500円 (青年塾生は、無料)

対象 京都府内に在住、在勤、在学する18歳から40歳までの者 (定員40名 先着順)

申込先 ゆめっと京都 事務局まで

注意 パソコン操作研修ではありません。

